

平成28年度

事業報告(案)

指導要項

障害福祉サービス事業所
ピーぷるファン

基本理念及びそれに基づく基本方針

理 念

障害のある人の、人生を輝かせる職場の提供と、人生を楽しむ暮らしを支援する。月平均48.4人×12ヶ月＝延べ 581名に支援を実施しました。

基本方針

1 利用者の人権と主体性の尊重

障害者の社会生活及び日常生活を総合的に支援するための法律に基づき、障害者個人が尊厳を持ちその人らしい生活を送れるように支援します。

2 利用者のエンパワメントの視点に立った自立促進

個別支援計画に基づき、自らの生きる力を高め自立自助を目指す多様なニーズに応える指導・支援をします。

*支援計画・モニタリング等計画的に実施。一般就労者1名でした。

3 安全で安心充実した地域生活の確立

工夫された日常生活や社会参加活動等の体験・訓練を通じて、精神や身体を鍛え、心身の健康と、安心・安全な充実した地域生活が送れるように支援します。

*鍛錬会・宿泊訓練等施設外で実施してきました。

4 感情を育成し生き生きとした日常生活を獲得する

生きるのに必要である「意欲」や行動の原点となる「やる気」を育成するため、多方面に渡る療育事業を実施し、もって感情全体を育成する。

*各種療育事業（運動・調理・音楽等）を実施しました。

平成28年度 事業所の努力目標

努力目標

(1) 地域福祉（CO手法の利用・構築）

「地域に根ざす障害福祉サービス事業所」「社会の一員」ということを前提に、地域社会をはじめ各種団体との交流を発展させ、他事業所との交流、企業・ボランティアの積極的導入を年間通して実施する。また、学校関係・各種団体・地域企業等との強い信頼されるネットワーク作りを拡大するよう努めると共に、地域の人々と好ましい関係を作る。これらは自立への大切なプロセスとの認識により、地域との連携を深めていきます。

- * 越前市東地区・南地区の事業へ参加。
- * 県立特別支援学校3校より就労実習及び日中一時支援事業による高等部生徒を受け入れました。
- * 県内各相談支援事業所・障害福祉サービス事業所より見学研修多数受け入れました。
- * 日本セルプの食品衛生研修先として受け入れを行いました。県内6事業所にて実施しました。
- * 県内福祉事業所2箇所より職員研修受け入れ
- * 鯖江つつじ祭り参加
- * 越前町陶芸祭り参加
- * 越前市ふるさと踊り参加（グランプリ受賞しました）
- * 越前市福祉フェア・子供フェスタ参加
- * 第1回越前市長杯卓球バレー大会参加
- * 越前市赤十字奉仕団様及び個人ボランティア様より菊人形販売応援を受ける。
- * NPO法人越前市障がいスポーツクラブ運営に協力（理事長・理事各1名ずつ）

(2) 職員の資質向上

臨床（実践的対処）は、人材であり、高度な技術のある福祉サービスを提供し続けることや、次世代へ事業を引き継ぎ、切れ目の無いサービスを行うためにも、職員の育成は欠かすことのできないものである。また、福祉サービスの基本理念に支えられた福祉事業所は、コンプライアンスルールの確立はもとより、管理者を含む職員一人ひとりにおいて、社会福祉分野における国家資格制度としての、社会福祉士・介護福祉士または、社会福祉主事等の、資格取得を目指すとともに、各種研修制度を活用し、新しい時代の福祉サービス人としての一層の知識と見聞を広め資質の向上を図ります。

- * 社会福祉法改正・社会福祉法人改革研修会参加
- * 商品開発研修（中小企業診断士協会から派遣8回各2名を受ける）
- * トータルフードマネジメント研修（日本セルプセンターより一般講師派遣）7月4・5日～3回
- * 県社協中級職員研修参加
- * 全国知的障がい者福祉協会研究大会・地区大会等参加
- * 全国社会就労センター協議会総合研究大会・地区大会等参加
- * 日本セルプセンター全国研究大会参加
- * 県・市就労センター協議会主催の岩手国体視察参加
- * 越前市商工会議所新任職員研修会参加

(3) 非常緊急時の体制整備

障害福祉サービス事業所には、利用者の生命財産を守るという絶対的使命があります。日常の事業所運営においては、非常事態における生命財産の保護に備えた体制整備が絶対視されています。災害時や、事故、急病などに対処した緊急時地域協力体制などの整備も目標としていきます。

- * 防災訓練 2 回実施 (7 月・12 月)
- * セコム北陸との火災緊急連絡システム継続・第 2 ぴーぷるファン新規契約
- * 県連携原子力災害時の対応訓練実施
- * 嘱託医のあり方検討

(4) 高齢化・重度多様化対策

利用者の高齢化・障害重度多様化対策として、各種療育プログラム（音楽療法・運動療法等）の充実を図り、余暇・レクリエーション支援も実施する。地域のあらゆる社会資源との協調体制を進めていき、環境整備・処遇向上に努めます。

- * 高齢者・重度障害者の作業・各種療育事業等個別支援計画見直し。
- * カルチャー講座（毎週土曜日実施）にて音楽・スポーツ・調理等療法見直し。
- * 昼食休憩時にダンス・軽スポーツ実施。
- * 個別支援計画を相談支援事業所と連携し常時見直し。

生活支援の目標

次の事を重点的に、基本的な生活習慣の確立、集団生活への適応を養う。

- (1) 健康・衛生・安全に気を配り、丈夫な身体を作るよう支援します。
- (2) 目標を持ち、決まりや約束はかならず守れるように支援します。
- (3) コミュニケーションの第一歩として、元気でさわやかな挨拶が出来るよう支援します。
- (4) 生き生きと、明るく素直で、お互いが助け合う思いやりの心と感謝の心を養うよう支援します。
- (5) 余暇を上手に使うよう支援します。
- (6) 健全な金銭感覚を養うよう支援します。
- (7) 地域社会との交流や行事に参加するよう支援します。
- (8) 新聞・ラジオ・テレビ等に目を向け、社会の動きに関心を持てるように支援します。
- (9) いろいろな体験を通じて、生きる意欲・就労へのやる気を含めた感情を育てていきます。

各種療育事業を駆使し、感情を育成する。

- (1) 生き生きとした生活をしてもらう為に、やる気や意欲といった最も育成しなければならない感情は、それ自体では育成しづらいものであるがゆえに、各種の療育事業（レクリエーション療法・音楽療法・運動療法・各種コンテスト・スポーツ大会その他カルチャー講座）を年間通して実施し続け、これを通して利用者個々の感情を豊かに育成します。

就労指導の目標

技能の開発と訓練・職場マナーの涵養

- (1) できるだけ多種多様な生産活動に挑戦し、それぞれの利用者が持っている潜在的な能力が開発され、活かされるように努めます。
- (2) 委託加工においては、年間の作業量の目標達成及び正確かつ能率的な作業を目指します。
- (3) 自主生産及び販売事業においては積極的な新商品の開発に取り組むとともに、地域社会との融合を図っていきます。

職業的技術の向上と職場での適用能力を養う。

- (1) 職場体験実習・施設外就労実習を通して、自立・自活の認識を深め、社会生活に順応できる力を育て、働く喜びを高め且つ一般就労への力を育てていきます。

日 課 表(平日)

時 間	業 務 内 容	
7 : 2 0 ~ 8 : 1 5	通所 (送迎バス・自転車・家族自家用車送迎)	
8 : 1 5 ~ 8 : 3 0	利用者着替え・体操・職員朝礼	
8 : 3 0 ~ 8 : 4 0	全体朝礼 (健康チェック) 10分	
8 : 4 0 ~ 1 0 : 2 0	班別打合せ・清掃・作業その1	100分
1 0 : 2 0 ~ 1 0 : 3 0	休憩	
1 0 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0	作業その2	90分
1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0	昼食 (歯磨き・共同利用各所清掃・休憩)	
1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	作業その3	90分
1 4 : 3 0 ~ 1 4 : 4 0	休憩	
1 4 : 4 0 ~ 1 6 : 1 5	作業その4 (清掃後始末等5分)冬期間は16:00作業終了有	95分
1 6 : 1 5 ~ 1 6 : 2 0	後始末・着替え等	
1 6 : 2 0 ~ 1 7 : 1 0	利用者帰宅 (送迎バス・自転車・家族送迎)	

* (土曜日の日程・取扱い)

午前8時00分より午後2時までとする。

療育プログラムに添って、運動・音楽・調理・生活・学習等の各種セラピーを実施する。

* その他、四季に応じた、鍛錬会・各種体験事業を取り入れる。

* 土曜日の日中一時開所時間も上に同じ

平成28年度 時系列事業結果報告

月	内	福祉の店運営	研修計画
4	所内花見バーベキュー会 5日	福井県・各市町役所 販売継続(通年事業) 販売責任者・主任	○J T(所内研修)随時 (7・8) 社会人新人研修 大柳 26日 5月26・27) 新任研修伊藤
5	監事監査 (25日) 定例決算役員会 (27日金) 利用者県外2泊研修 (15~17) 鹿児島	鯖江つつじまつり販売 (4月29~5月5日) 越前陶芸祭り販売 (28~30日) 福井信金・年金友の会 コンサート (21・22)	県社協主催各種職員研修会
6	県障害者スポーツ大会 (5日) FD大会		日本セルフ研究大会 (1~3日) 東京 中野) 田辺・山田 (発表) 全国カフェ喫茶ショー14・15日 (市 セルフ合同研修東京) 長谷川 主任 日本知的福祉協会施設長研修(23・24 日神奈川) 次長・浅野・上田
7	夏季鍛錬会 (15・16日) 今庄たくら 防災訓練 (避難・通報) 15日山田防災マネージャー		全国セルフ総合研究大会 (7・8日四日市) 田辺・長谷川
8	ふる里踊り(13日)グランプリ受 賞 盆休み (14~16日)	梨販売キャンペーン (7月・8月・9月)	県就労センター研修発表 山本 安全運転管理者講習 田辺
9	利用者定期健康診断 14日 (主 任) リフレッシュデイ 28日伊賀・ 信楽	越前市ものづくりフ ェア (17~19日) 越前市福祉フェスタ (24日)	(9月9 10月5・6) 中堅研修松原 全国知的福祉協会職員研修会 (7~9日北海道) 次長・荒井 ・職員県外視察研修 (17~19日)
10	福井県ペタンク大会(鯖江6日) 1・3位	たけふ菊人形販売 (10/6~11/6)	3・4日岩手国体視察(県セルフ合同 研修) 田辺・長谷川
11	福井県障害者スキルアップ大会 8日 意見発表 1・3位・調理 2・3位・軽作業 2・3位 接遇 2・3位 越前市障害者スポーツ大会 13日 (卓球バレー市長杯) 秋季鍛錬会 29日中部空港		東海北陸セルフ職員研究大会 (石川1・2日) 田辺・主任・馬場 全国知的福祉協会生産部会 18・19 田辺・長谷川
12	利用者文化祭・忘年会(18・19日) 防災訓練 18日 (避難・通報) 山田防災マネージャー		

	そば打ち会 (24 日) 年末大掃除(28 日) 餅つき大会(29 日) 年末年始休 30 日～1 月 3 日		
1	初詣・新成人を祝う会 (7 日)		
2	定例予算役員会 20 日	恵方巻販売 3 日 約 400 本	日本セルフセンター菓子部会実地 研修 (3. 4 日) 主任 全国社会就労センター施設長研修 会 (23・24 神奈川) 田辺・長谷川 モバック見学大阪南港 22 日 主任
3	評議員選任・解任委員会 (1 日・15 日) 利用者リフレッシュデイ (28 日彦根) 役員会理事会・ 監事会合同 (27 日任期満了による役員改選)		全国セルフ工賃向上研修会講師田辺 東京全国社会福祉協議会 29 日